



写真番号:PH-157

飛石

日本庭園を構成する材料の中で、抜きにして語れないのがこの飛石でしょう。飛石がいつの時代に庭園の中に用いられたか正確な記録はありませんが、いずれにしても日本の庭園における独自の形成です。大・中・小の石を地面に並べ据える動作を、囲碁と同じく『打つ』と称し、高い精神性と技術を必要とされます。



石種	品番/品名	規格(直径)
白御影	ST-022 飛石のみきり 底面割肌	φ300
		φ350-400
		φ400-450
		φ450-500
		φ550-600



石種	品番/品名	規格(直径)
錆御影	ST-023 飛石のみきり 底面割肌	φ300
		φ350-400
		φ400-450
		φ450-500
		φ550-600

※形状は自然石のためカタログの写真と異なります。

DRY ドライ：製品が乾いた状態の写真